

キャリア教育 学習プログラム

○目標： 幼児児童生徒一人一人の個々の発達段階における課題の達成を通して、将来、社会人として自立していくために必要な意欲・態度・能力(生きる力)を身に付け、それぞれの人生を「よりよく生きる」ことをねらいとして行う。

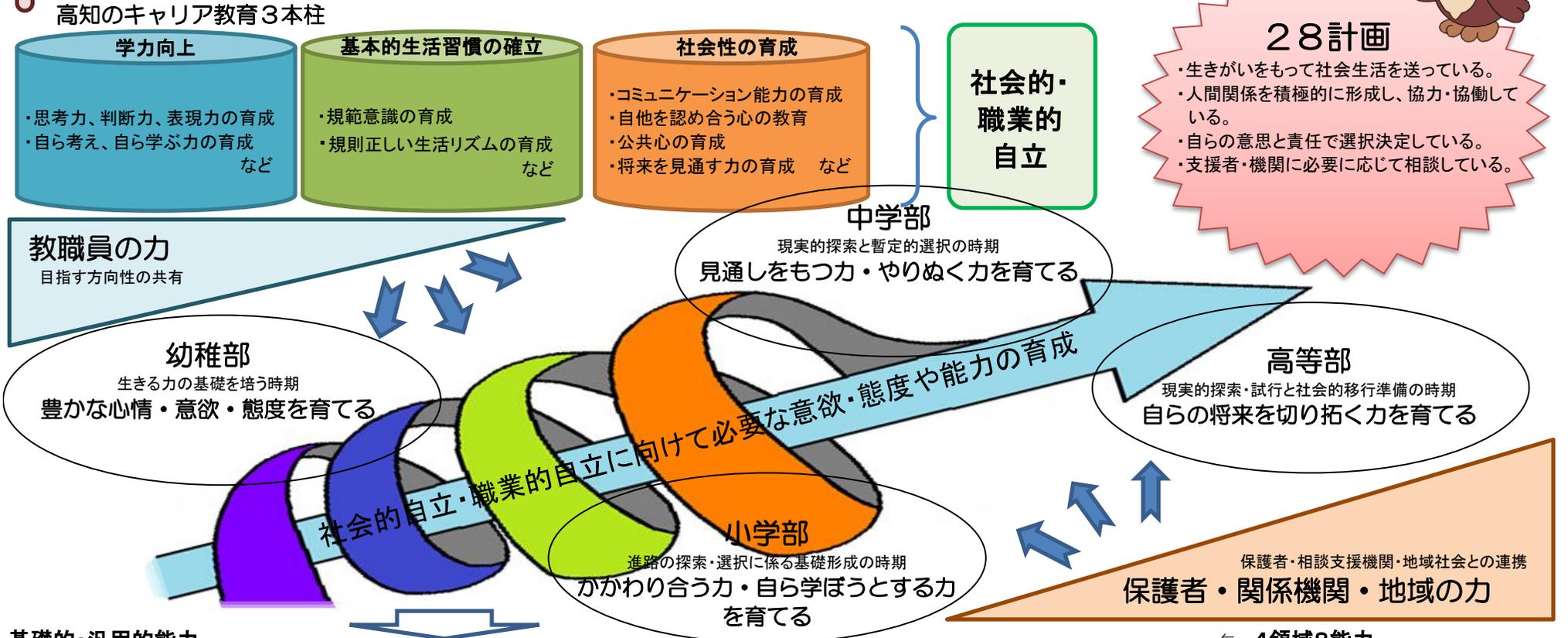
キャリア教育とは

- 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育です。(文部科学省)
- ◇子ども一人一人の※キャリア発達を支援します。
- ◇人とかかわりや様々な経験や体験などを通し、将来自立した社会人として社会や集団へ適応できる力を育成します。
- ◇学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、意欲的に学び、行動する態度を育てます。
- ※キャリア発達とは社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程のことです。



28計画

- ・生きがいをもって社会生活を送っている。
- ・人間関係を積極的に形成し、協力・協働している。
- ・自らの意思と責任で選択決定している。
- ・支援者・機関に必要なに応じて相談している。



基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる。
自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。
キャリアプランニング能力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

4領域8能力

人間関係形成能力	他者の理解能力 コミュニケーション能力
情報活用能力	情報収集・探索能力 職業理解能力
将来設計能力	役割把握・認識能力 計画実行能力
意思決定能力	選択能力 課題解決能力